

2018年 08月 27日

検査部で尿検査を受けられた患者さんへ

「尿沈渣白血球の生死と細菌性膣症の関連性に関する研究」への協力をお願い

検査部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年6月～2019年2月に当科において、尿沈渣検査を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2019年 3月 31日

研究目的・方法：

これまでの研究より、泌尿器系疾患を有する患者に由来する白血球は生細胞（live cell）であり臨床的意義は高いが、泌尿器系疾患のない患者に由来する白血球は死細胞（dead cell）であり、コンタミネーションに由来するため臨床的意義は低いと考えられている。一方で、日常検査において、dead cell を多く含む尿沈渣中に、細菌性膣症と指標となるクルーセル（上皮に多数の細菌が付着した細胞）を認めるケースが少なからず存在するが、その臨床的意義は明らかになってない。そこで、本研究では尿沈渣における白血球の生死と細菌性膣症との関連性について検討する

尿沈渣は尿沈渣検査法 2010 に従い作成し鏡検する。沈渣中に白血球を認めた場合、稲垣ら（2008、医学検査）の方法に従い、Sternheimer 染色の染色性より生細胞と死細胞を判定する。白血球に加えて、上皮、細菌を認めた沈渣については、塗抹を作製後、グラム染色を実施し、クルーセルの有無を確認する。グラム染色にてクルーセルを認めた場合、細菌検査の結果とあわせて細菌性膣症の可能性を判定する。

研究に用いる試料・情報の種類：尿

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 検査部

電話番号 058-230-7255

氏名：三浦 由貴

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 検査部

氏名：伊藤 弘康